

① レジュメの作り方

国際政治学理論の意義と展開—理論研究の歴史的系譜から

(○○『○○』九州大学出版、2009年、第1章、2-17頁)

法学部○年/法学部研究生 九大大郎

1. 本報告の趣旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2. リアリズム

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

A) 古典的リアリズム

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

a) ハンス・モーゲンソー

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

b) E. H. カー

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

B ネオリアリズム

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3. リベラリズム

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

A. 自由主義

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

B. 相互依存

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

4. まとめと論点整理

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

<sup>1</sup> ○○『○○』九州大学出版、2009年、45頁。

コメント [T01]: タイトル (主題と副題) をつける

コメント [T02]: 指定文献がある場合にはその箇所を明示

コメント [T03]: それぞれ番号や記号で小見出しをつける。大項目 (1, 2, 3,) 中項目 (A, B, C,) 小項目 (a, b, c,) など分かり易く分類する

コメント [T04]: 報告の概略・まとめ

コメント [T05]: 参考文献に注をつける

コメント [T06]: 最後に自分の意見と論点整理。本の言葉ではなく自分の言葉で簡潔に

## ■ 結論を先に書く

結論⇒理由 ○○○、なぜならば…

## ■ ナンバリング、簡潔さ

1, 2, 3

A, B, C,

第一に○○、第二に○○

一方で△△、他方で△△

## ■ 体系的なまとめ方

- ・ 時系列 (Chronology)
- ・ 論点別
- ・ 単純なもの⇒複雑なもの
- ・ 抽象的⇒具体的 (または具体的⇒抽象的)
- ・ 平易なもの⇒難解なもの
- ・ 合意の取れやすいもの⇒論争的なもの
- ・ 重要でないもの⇒重要なもの
- ・ 理解しやすいもの⇒理解しにくいもの

## ■ 定義

言葉の定義

一般的な定義…辞書的な定義

当該文献における定義、その事例 (文脈) における定義

[それに対して] 自己の定義

## ■ 理由付け

定義あるいは主張に対する根拠・論拠

因果関係の説明